

一般財団法人 パスウェイズ・ジャパン

令和 3 (2021) 年度 事業報告

(令和 3 (2021) 年 7 月 7 日から令和 4 (2022) 年 3 月 31 日まで)

1. 難民高等教育支援事業

【事業目的と計画】 国外より留学の在留資格で難民等を日本に受け入れ、国内での高等教育、就職及び自立を支援する。

- (ア) 難民等の大学学部及び大学院進学のための奨学金募集要項の決定と奨学金選考委員会の設立
- (イ) 3 名程度の奨学生の募集と選考
- (ウ) 奨学金の供与
- (エ) 供与後のモニタリング

【裨益者】 難民の背景を持ち高等教育を希望する学生 3 名

【事業概要及び成果】

(ア) 初年度である本事業年度では、奨学金供与の基礎となる特定預金資産の運用方針、及び運用先等について検討を進め、資産運用規程の制定、担当理事の選任さらに運用委託先候補の選定まで完了した。本事業の趣旨にかなった難民の背景を持つ人々のための奨学金を公益財団パブリックリソース財団が供与するに際して、募集要項策定、告知等を委託を受けて行った。

(イ) (ウ) 上述の協力を経て、同財団による本年度 3 名の奨学生の決定及び奨学金の供与に寄与した。

(エ) これら奨学生の入学後の学業・生活のモニタリングは、同財団の委託を受けて次年度当財団が実施予定である。

2. 難民等受け入れ自立支援事業

【事業目的と計画】 世界各地で難民の状況となっている人びとを日本に受け入れ、難民が日本社会の一員として自立し活躍していくことを支援し、また難民や国際的な難民保護に対する社会の正しい理解を促進する。

① 日本への受入れ

- (ア) 国外在住の難民等及びアフガニスタンからの退避者等より留学生 3 名程度の募集、選考及び来日前の日本語学習支援とオリエンテーション等
- (イ) 留学生来日時のオリエンテーションと生活立ち上げ支援
- (ウ) 日本語教育と在学中の四半期定期面談を通じた進路指導及び生活相談
- (エ) 日本語学校等卒業生のモニタリング

(オ)協力大学、市民社会組織、政府機関等とのパートナーシップの構築と拡大

【裨益者】 難民の背景を持つ若者 32 名（来日済み 28 名、選考後来日準備中 4 名）

【事業概要及び成果】

(ア) 本事業は(特活) 難民支援協会より事業譲渡を受け、継続して当財団として実施した。初年度である本事業年度では、シリア難民 6 期生の募集をトルコで、またアフガニスタンの難民及び退避希望者の募集をアフガニスタン国内と周辺国さらに日本国内で進め、シリア人の応募者約 300 名から 2 名を、アフガニスタン人の応募者約 10 名から 2 名を選考し、来日前の日本語教育等を実施した。ただし、新型コロナウイルス感染症による入国制限の影響で来日は次年度となった。

(イ) 令和 2 (2020) 年に難民支援協会の事業実施時に採用され、入国制限で来日を待っていたシリア留学生 5 期生 7 名に対しては、来日前日本語教育等を継続し、令和 4 (2022) 年 2 月に査証発給許可が出たことを受けて、来日準備を進め、同年 3 月に 7 名が来日を果たしたことで、来日時オリエンテーションを実施した。

(ウ) 令和元 (2019) 年に来日したシリア難民 4 期生 5 名に対しては、四半期ごとに定期面談を行い進学または就職に向けた進路指導を行った。また、それ以前に来日して本年度進学を希望する 3 名に対しても、適宜助言と情報提供等を実施した。その結果、進学希望者 7 名の内 4 名が大学、大学院または専門学校に進学を果たし、就職希望の 1 名は希望職種への就職を果たした。

(エ) 上記以外の 13 名に対しても、モニタリングを行い学習、就職準備等の状況について確認し、必要な助言や情報提供を行った。

(オ) 財団設立後、国際基督教大学を始め、シリア留学生が入学した各大学とは連携を維持・強化した他、出入国や在留資格取得、教育に関わる各政府機関とも連携して事業に取り組んだ。

② 就労・自立支援

(ア) 就職を予定する難民等への就職活動及び就職関連情報の提供

(イ) 大卒及び専門学校卒の難民等の雇用に関心をもつ企業等とのネットワーキング

【裨益者】 難民の背景を持つ若者 28 名

【事業概要】

(ア) 2017 年度に受け入れられ、大学 3 年生在学中のシリア 1 期生 4 名に対して、就職活動に関する一般情報の提供と、個別の就業セミナーやインターン募集情報等の提供を行った。また、受け入れ大学とも就職支援における連携のための会合を開催した。

(イ) 初年度である本事業年度では、海外における難民の就業支援や就業を通じた受け入れに関する取り組み、また国内で取り組みを進める組織、企業等に関する情報収集や聞き取りを行い、次年度以降のネットワーキングのための情報収集と計画策定を進めた。

③ 普及・啓発事業

- (ア) 本事業に関する国内外での講演、シンポジウム等開催、メディアを通じた発信
- (イ) 本事業に関わる国内外の会合やネットワーク団体への参加
- (ウ) アフガニスタンの危機に対応した日本への受け入れに関する協力体制の構築と運営

【裨益者】 難民受け入れに関心を持つ市民、教育機関、企業、行政等

【事業概要】

- (ア) 以下の機会に本事業及び市民社会主導の難民受け入れの必要性和意義について発信し、社会の理解の向上に寄与した。

<講演・会見等>

2021 年

8 月：シリア OB 会総会で代表折居が活動報告

9 月：アフガニスタン退避者受け入れコンソーシアム記者会見に代表折居が登壇

J-FUN マルチステークホルダー・コンサルテーション (MSC) 運営委員会に参画し、第 4 回勉強会「人道危機に直面するアフガニスタン～日本にできることは～」の開催に協力

10 月：沖縄平和賞受賞団体有志主催による「P e a c e & Democracy ～沖縄と世界の課題から平和と民主主義を考える～」にて代表折居が発表及びモデレーターを務める

11 月：公明党難民政策 PT にて代表折居がアフガニスタン退避者の概況説明

12 月：世界宗教者平和会議日本委員会 (WCRP) との共催による事業実施 5 周年成果発表会を開催

創価大学「SDGs 達成に向けた実践者と学生・教員の対話・ネットワーキング会合」にて代表折居が発表

2022 年

1 月：慶応大学総合政策学部連続講演にて代表折居が講義

2 月：アフガニスタン退避者受け入れコンソーシアム記者会見に代表折居が登壇

3 月：ウクライナの人道危機と日本への退避者や難民受け入れに関するコメントを発表

難民ナウ！「ウクライナ緊急オンラインイベント 日本の受け入れを考える 国・市民社会に何ができるのか」に代表折居が登壇

<https://www.youtube.com/watch?v=VWR-DbPfEUE>

シリア 5 期留学生来日記念オンラインスピーチ配信実施

<メディア掲載>

2021 年

9 月 15 日 毎日新聞社月刊「ニュースがわかる」10 月号 「難民 命をかけた旅」

9 月 24 日毎日新聞「『特別な存在ではない』広がる難民への教育支援 民間にできること」

<https://mainichi.jp/articles/20210918/k00/00m/040/272000c>

11 月 12 日共同通信配信「こんにち話 沖縄戦を聞いて平和を願う ザカリッヤさん シリア難民留学生」<https://www.okinawatimes.co.jp/articles/-/862059>

12 月 29 日毎日新聞ウェブ版「迫る危険 日本へ退避待つアフガン人元留学生 コロナで水際強化」<https://mainichi.jp/articles/20211228/k00/00m/030/301000c>

2022 年

1 月 15 日 NHK ニュース「日本に退避のアフガニスタン人に相談会 就労や在留資格など」
(アフガニスタン退避者受け入れコンソーシアムへの取材)

<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20220122/k10013445281000.html>

3 月 1 日 NHK BS 国際報道 2022 (アフガニスタン退避者のニュース内で取材)

3 月 15 日 Reuters “Long refugee-shy, Japan prepares to welcome Ukrainians”

<https://www.reuters.com/world/long-refugee-shy-japan-prepares-welcome-ukrainians->

(以下令和 3 年度中に取材を受け、翌年度に掲載された記事)

【4 月 1 日 Bloomberg “Japan Embraces Ukraine Refugees in Break From Past Conflicts”

<https://www.bloomberg.com/news/articles/2022-04-01/japan-embraces-ukraine-refugees-in-break-from-past-conflicts>

4 月 4 日 朝日新聞ウェブ版「ここで死ぬんだ…」自爆テロで狙われた命 避難先は「おしん」の国 <https://www.asahi.com/articles/ASQ4101KKQ3NUHBI03Q.html>

4 月 4 日 NHK BS 国際報道「入国緩和で来日するシリア人留学生」】

(イ) (特活) なんみんフォーラム、日本 UNHR-NGO 評議会 (J-FUN) に加盟した他、令和 3 (2021) 年 9 月には国連難民高等弁務官事務所 (UNHCR) と各国の教育機関等で構成される Global Taskforce on Third Country Education Pathways (第三国への教育パスウェイズ・グローバル作業部会) への参加が認められた。

(ウ) 2021 年 8 月のアフガニスタンの政変後、アフガニスタンから退避を求める退避者の受け入れの課題に取り組むアフガニスタン退避者受け入れコンソーシアムに参画し、受け入れのための仕組みや政策提言等に貢献した。

3. 評議会及び理事会の開催

① 評議会

第 1 回臨時評議会 (令和 3 年 10 月 15 日)

評議会運営規則制定の決議

評議員及び役員の報酬等並びに費用に関する規定制定の決議

今年度役員報酬額決定の決議

公益財団法人設立時評議員及び役員の選任決議

公益認定申請時定款の承認

第 1 回定時評議会 (決議の省略) (令和 3 年 11 月 16 日)

公益認定申請時に提出の公益財団法人定款の承認

第2回臨時評議員会（令和4年1月11日）

評議員1名辞任の報告

定款変更の承認

新任の評議員の選任の件

新任の理事の選任の件

評議員及び役員の報酬等並びに費用に関する規程の改定の承認

第2回定時評議員会（決議の省略）（令和4年3月30日）

代表理事の役員報酬額を改定する件

② 理事会

第1回臨時理事会（決議の省略）（令和3年9月27日）

委員会規定の承認

受け入れ留学生選考委員の選任

第1回通常理事会（令和3年10月8日）

代表理事への業務委託の承認

令和3（2021）年度事業計画及び予算見直しの決議

各種規定制定の決議

公益認定申請及び以上に伴う認定後の事業計画及び予算の承認

評議員会の招集の決議

代表理事及び常務理事の職務執行状況の報告

高等教育支援事業の進捗の報告

第2回臨時理事会（決議の省略）（令和3年11月4日）

令和4年度受け入れ留学生に関する「受け入れ留学生選考委員会」答申の承認

第3回臨時理事会（決議の省略）（令和3年11月12日）

評議員会の開催と決議の省略の承認

第4回臨時理事会（決議の省略）（令和4年1月6日）

評議員会の開催の決議

第5回臨時理事会（決議の省略）（令和4年2月25日）

公益認定申請の取下げの決議

受け入れ留学生選考委員1名の選任の決議

第6回臨時理事会（決議の省略）（令和4年3月4日）

主たる事務所移転の件

第2回通常理事会（令和4年3月9日）

令和4年度事業計画（案）及び令和4年度予算（案）の承認

公益認定再申請の承認

諸規定の制定の承認

評議委員会（決議の省略）招集の決議

本年度受け入れ留学生追加採用の承認

代表理事及び業務執行理事の職務執行状況の報告

4. 公益認定申請

令和3（2021）年10月8日開催第1回通常理事会の決議に基づき同年11月19日に公益認定申請を行った。しかし、定款変更や独立した事務所を設ける等、申請後に必要とされた要件を満たすことに一定の時間を要したことから、内閣府公益等認定委員会との相談を経て、令和4（2022）年2月25日開催第5回臨時理事会の決議に基づいて、同年3月9日に一旦申請を取り下げた上で、3月9日開催第2回通常理事会にて再申請の手続きを取ることを決議した。

以上

附属明細書

令和３年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律」第１２３条第２項及び「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第３４条第３項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。